

主催：NPO 法人食品安全グローバルネットワーク

# 第10回機能性食品の効能評価

現在、機能性食品・漢方薬の効能や安全性についてラット・マウスでの動物試験が実施されています。しかしながら、これら汎用動物の医生物学的特性がヒトと大きく異なるため、試験結果のヒトへの外挿が難しいケースも有ります。これらの課題への対応として、霊長類（サル）モデルを利用したゲノミクス/トランスクリプトミクス評価による分子基盤情報について紹介します。

**2012年10月19日(金)午後1時30分～4時30分**

**島根ビル 9階 会議室** 〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目13-18

(国道1号線 西天満東交差点南西角から西に2軒目のビル、最寄りの地下鉄:南森町)

13:30～13:40 挨拶

伊藤譽志男(NPO 法人食品安全グローバルネットワーク会長)

財団法人日本食品分析センター学術顧問

元国立医薬品食品衛生研究所食品試験部長、元武庫川女子大学薬学部教授

13:40～14:20 **食品規制の動向：今、何がリスクか**

中村幹雄(同 NPO 事務局長、鈴鹿医療科学大学薬学部客員教授)

14:20～14:30 休憩

14:30～16:00 講演と質疑応答

## 機能性食品の効能・安全評価

### ～サルを利用した分子基盤情報～

中村 伸(NPO 法人プライメイト・アゴラ バイオメディカル研究所長)

東京理科大学研究総合機構客員教授 株式会社アイテックラボ代表取締役

元京都大学霊長類研究所研究員

効果・作用および安全性・生体影響に関する

ゲノミクス/トランスクリプトミクス評価系

16:00～16:30 情報交換会(ささやかな交流会) \*参加は任意です。

参加費：会員；3,000円、非会員；5,000円 定員：30名(先着順)

連絡先：特定非営利活動法人 食品安全グローバルネットワーク(大阪府指令府活第2-271号)

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目13-18 島根ビル5階

TEL：06-6311-1494 FAX：06-6311-1484 E-mail：mikio-nakamura@river.ocn.ne.jp